



中欧・ローマ・ギリシャ巡礼



悲願のサン・ピエトロ大聖堂にて

Тотлар
 ыр Тилбур
 афамс Тархен
 Рахмо талмас
 Талмас

Bulgaria 7°12'47"
 Plovdiv 7°12'47"

IMARET DCAMI
 1444
 PLOVDIV
 BULGARIA.

480



KADI SEYFULLAH
 EFENDI CAMII
 MIMARI: MIMAR
 SINAN
 YAPILIS TARİHİ: 15

BULGARIA 7°12'47"
 Sofia 7°12'47"

481

482

Хилляди Благо-
 пожелания от
 храм. Св. Ал. Невски
 София - България
 Обичаме Ви
 скъпи японски
 братя.

聖ニコライ・ロシア教会
 ソフィア

Иван.

22.04.16

72

483

Подворие на Руска
 православна църква в
 България, Св. Николай
 Мирликийски.

Олгарник Мария Савова
 22.04.2016 г. гр. София
 10:15

聖ニコライ・ロシア教会
 ソフィア

Благодарност от Църква
"Света Неделя"
"Бог да е с вас!"

Munich

聖ネデリヤ教会

484

To Kishi
From the church
"St Petka"
Samartsiiska
in Sofia, Bulgaria

聖ペトカ地下教会

ソフィア

22.04.16

Eled

485

To Kishi
From The Church
"St. George" in
Sophia, Bulgaria
with the best
wishes with
friendship.

22 April 2016

聖ゲオルギ教会

ソフィア

BMy

486

Разделянето от
България за Ямския
е голямо, но любовта
не към ямския народ
не сближава
е общо: "Св. Св. Св. Св."

聖ソフィア教会

487

ХРАМ Вазнесење
Господње
БЕОГРАД СРБИЈА

WELCOME
KISS

JAPANESE
NAME
DEIAN
G

昇天教会
ベオグラード

ТРАГОВИНА СРПСКЕ КУЛТУРЕ
И ДУХОВНОСТИ КРОЗ
АЛБАНИЈУ

488

Ja vam Tociog ga
smiraj i шарайлоо
небеско брање Kishi

Врелна

Храм св. Саве

ハズネセイヤ
聖サヴァ教会

489

Храм Свјетог Марка

スウェティ マルコ
聖マルコ教会

490

24. 04. 2016

Саборна Црква
(Београд)

"Корачај храбро
кроз животи"

サホナ ツルコ
セルビア正教大聖堂

КЕШИ

491

24.04.2016

ЦРКВА
РУЖИЦА

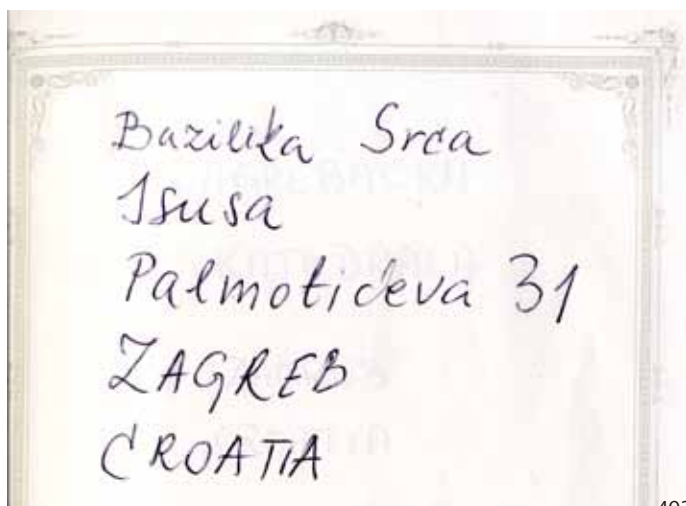
КИСХИ

ツルコ
12-11-073

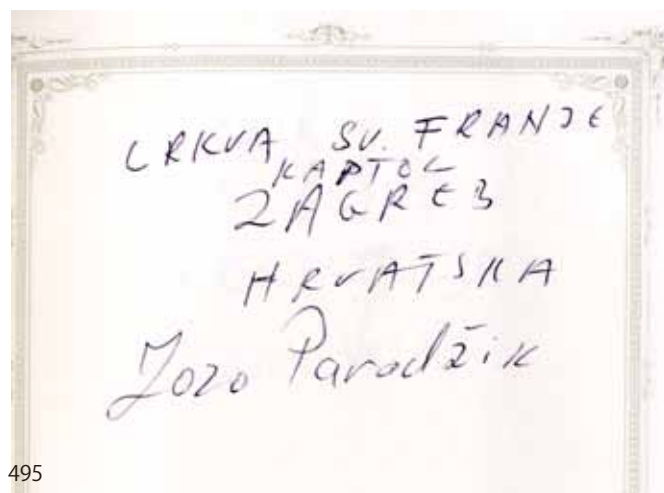
ЈЕДНА ОД НАЈСТАРИЈИХ
ПРАВОСЛАВНИХ ЦРКВА
У БЕОГРАДУ

Савез
Црквених

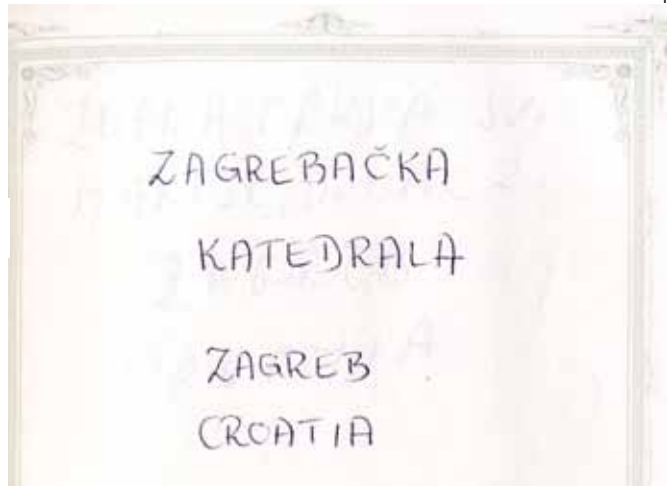
492



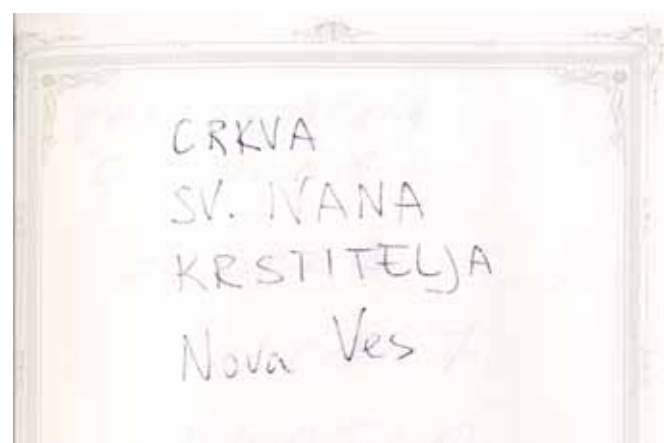
493



495

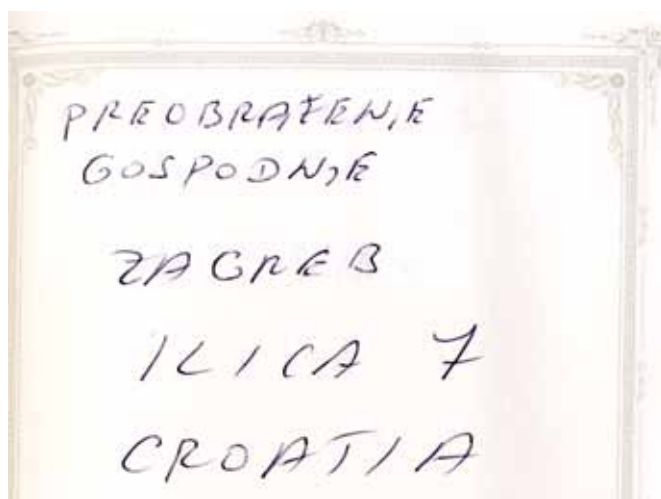


494



496

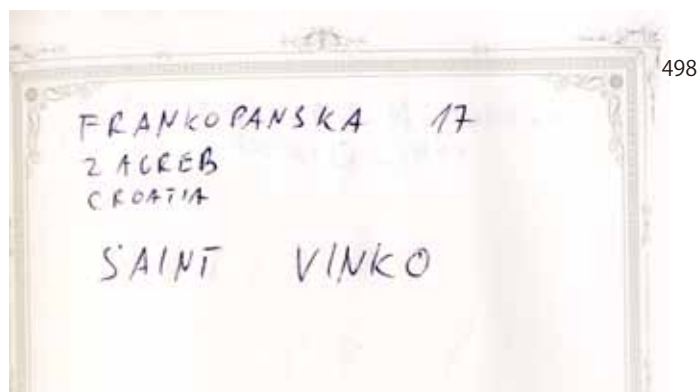
497



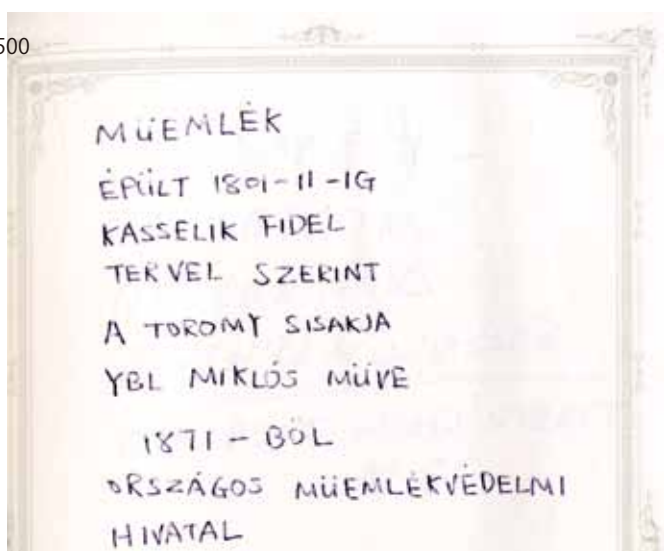
499



500

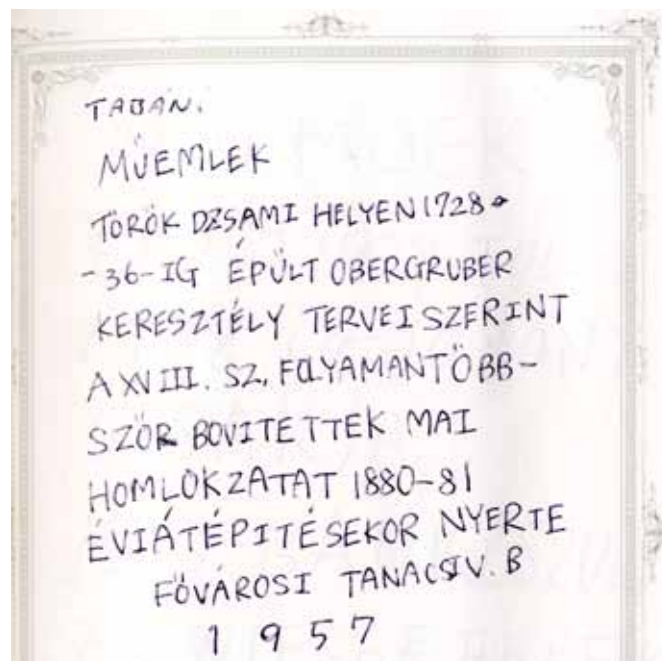


498

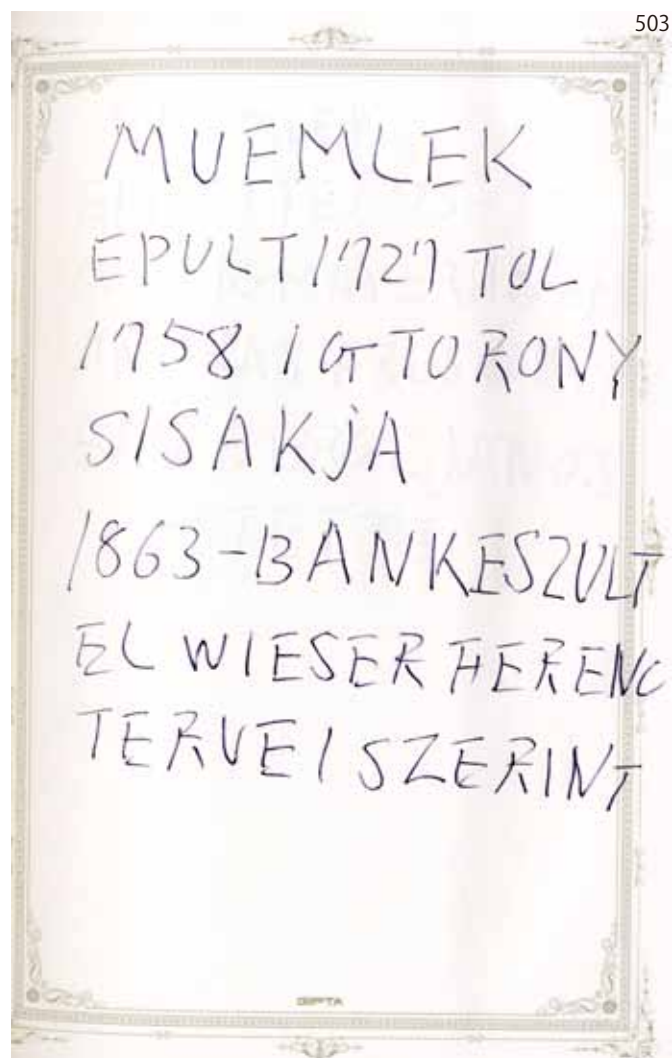




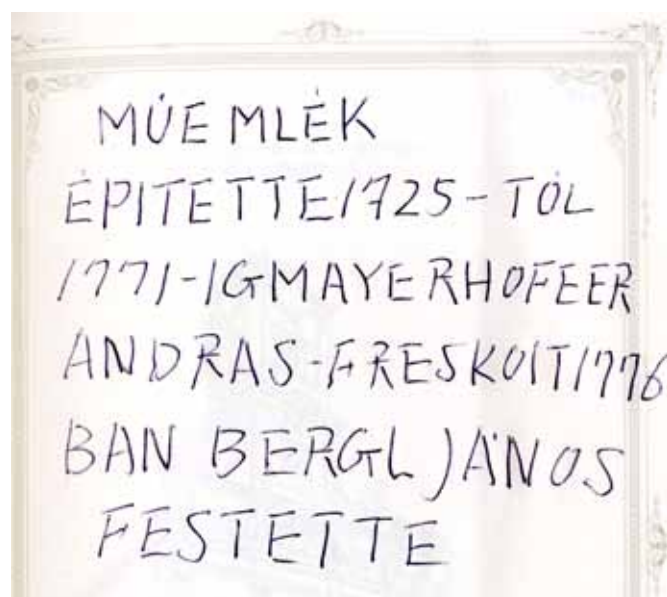
501



502



503



504

Szent Mihály templom

ブダペスト中央地区聖ミカエル教会管理局
「英国婦人の教師達」教会



聖ミカエル教会へようこそ

505

MUEMLÉK

ÉPÜLT 1657-1716 IG LINZI
OTTO KAPUCINUS SZERZETES
TERVEI SZERINT MAI
HOMLOKZATAT 1856
ÉVI ÁTÉPÍTÉSEKOR NYERTE.

BUDAPEST
L. Gáspár

506

St. Thomas

Tomaš

PRAHA, CZECH REP.

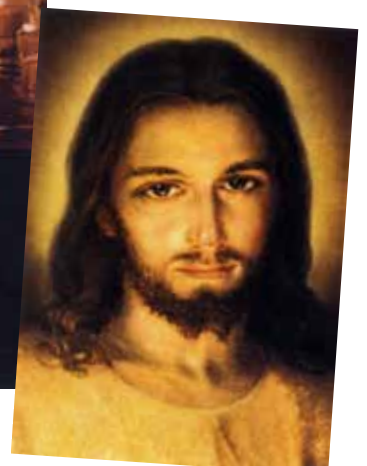
507

BATTHYANY TER

ÉPÜLT 1740-62
IG HAMON
KRISTÓF MAJD
NÉPAUER
MATE TERVEI SZERINT

509

Lazaristen Kirche Wien



St. Ägid / Wien 6. Bez.
Sumpendorfer Straße



Church = Kirche

Adelhard Kemper
Ki-Fokoi



510





Sofia

4/22 ソフィア



4/24 ベオグラード





4/26 ザグレブ



Budapest

4/28 ブタペスト





Budapest



4/28

ブ
タ
ペ
ス
ト





4/30 プラハ



5/1 ウィーン



5/3 ~
ヴェニス



Venezia



5/4
フェレンツェ



Firenze



5/5 ~ 6

ローマ



Roma



5/9 ~ 10
ナポリ

Napoli



5/13
ドゥラス



スコピエ
5/15



5/17～
アテネ



Athens



5/19 ~
アテネ



Athens



~ 5/24
イスタンブール

Istanbul



同行二人の体感 ～お大師様に救われて～

この原稿を書き始めた7月15日、トルコでクーデター未遂事件が勃発した。同国軍の一部が画策し民間人を含め死者は290人に及んだ。トルコ国内は首都のアンカラをはじめ出入国の大都市イスタンブール等、国中が厳戒態勢に敷かれ20日にはエルドアン大統領が非常事態宣言を発令した。この事件の3ヶ月前一人の日本人がトルコ全土を巡り、500カ所以上のイスラム教モスクで納経（メッセージ）を頂きながら巡礼をしていた。遍路行者、岸 好猛である。勿論同国は不穏な状況下であり、隣国イラン・イラク・シリアとの国境付近には、以前から日本の外務省より「退避を勧告します。渡航は延期して下さい」との通告が出されている地域である。アンタゲヤ、カディアンデップ、ディヤルバルク、マルディン、ワンといった南東部国教付近では何度となく兵士に銃を突きつけられながらも、信を示して救われての巡礼であった。同じ場所にいた日本人ジャーナリストが拘束され、「助けて下さい」と書かれた板を首から吊した姿が日本のテレビに映し出されたのは、岸師が巡礼を続けている最中である。

トルコでのイスラム教モスクを巡り、続けて中欧諸国の各正教教会を巡ったのであるが、180度別世界の経験と、それぞれの壮大なスケールは衝撃的なものであった。イスラム教モスクは全てを受け入れてくれる柔軟性、各正教教会の威厳性とうものは、それぞれの国家、民族、文化、歴史等によって確立された宗教性であり、巡礼、体感して初めて分かるものであった。

今回の巡礼は、中国を皮切りに諸外国を巡る最後の巡礼になるであろう。振り返って見ると、岸師が巡る巡礼地は行く先々でその前後で紛争や事故や事件が起きてきた様に思う。チベットでの暴動は帰国後数日後のことであり、インドではムンバイ巡礼後直ぐに暴動勃発、前回シルクロードの踏破に足を踏み入れたときは、カシュガルでテロが起きている。それだけ危険地帯が巡礼地になった訳であるが、岸師が好んで選んだ訳ではない。必然的にそうってしまったのである。このことは、岸師が如何に時代に敏感であるかの証明に

なるであろう。世界を歩き続けて来た者だけに与えられる、目に見えない使命に突き動かされての結果なのである。

銃を突きつけられ生命の危険に晒されたり、強盗に襲われたことは度々であるが、その都度奇跡的に救われ、しかも納経帳だけは持ち帰ることが出来たのは本人曰く、お大師様に救われて「同行二人」を体感できたからである、と。そしてその度に、東寺で出家させていただき、東寺遍路行者として歩かせて頂いている者に対する、お大師様のご加護が常に注がれているのだと思うのである。

付き加えさせてもらえば、宗教の魔力の働きもあると思う。勿論岸師個人の能力、つまりは緻密な情報入手、周到な用意、現地での人並み外れた対応とパフォーマンス、窮地にたった時の機転、判断力等を兼ね備えていることも大きな要因であるが、真に宗教を実践する者だけに降りそそぐ宗教の魔力を考えずにはいられないのである。

此が「仏日の影が岸師の心水に現じ、岸師の心水が仏日を感じる」加持の世界だと思う。

世界30ヶ国を歩き続けてきた岸師も、そろそろ最終章に近づいたようである。最後の遍路は……。

平成28年7月21日

東寺真言宗宗務総長 橋 本 尚 信